

## ろうさい ニュース

平成 29 年

1 月号

第 389 号

### ■ 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。旧年中はほんとうにお世話になり、厚く感謝申し上げます。昨年は診療報酬改訂など逆風のなか、常勤の消化器内科医および内分泌代謝内科医がそれぞれ3名と増員、整形外科医数が回復し、そして、なにより皆様方のご支援の賜により、順調に運営することができました。重ねて御礼申し上げます。

年のはじめにはいろいろなことを考えます。世界を眺めると本当に様々なことが起こっています。世界がどんどんボーダーレスになり、海外の出来事がすぐさま我が国に影響を及ぼしますが、とくに米国の状況は我が国を直撃します。我が国の将来は米国の姿をみれば想像できるとよく言われます。今の米国は我が国の10-20年先の姿かもしれませぬ。我が国の医療体制や医療保険制度もいずれ米国型に近づくことも大いに想像されます。

また、ある文化人が「忍耐、誠実、慈愛、勇気、正義、名誉、惻隠。古来、日本人が大切にしてきた徳目がいまや風前の燈火となろうとしている」と述べていました。これらの徳目は日本人だけでなく、人として時代を超えて普遍的な価値を有するものであり、大切にしていまいりたいと新年の始めに思う次第です。

さて、今年は私ども浜松労災病院が開院して50周年になります。昭和42年4月に挙県の誘致運動により静岡労災病院として300床、11診療科として開設し、昭和60年に浜松労災病院と名称を変更しました。400床のときもございましたが、平成21年に新病院となり、312床、21診療科で今日に至っております。

本年4月8日にグランドホテルにおきまして記念式典、祝賀会を予定いたしております。

また式典に先立ち、同日に、医療関係者だけではなく、市民の方にも広くご参加いただき、京都大学iPS細胞研究所との合同シンポジウムを開催させていただきます。山中伸弥先生を含む3人のシンポジストを予定いたしております。近いうちにご案内させていただきますので、多数のご参加をお待ちしております。

末筆になりましたが、皆様方のご多幸を祈念申し上げます。

院長 有井 滋樹

### ■ iPS細胞発表10周年・浜松労災病院開院50周年記念合同シンポジウムのご案内

地域の皆様そして開業されておられる先生方をはじめとする多くの医療関係者の方々に支えられ、本年、私どもは開院50周年を迎えることができました。あらためて御礼申し上げます。

50周年を迎えるにあたり、本年4月8日、グランドホテル浜松におきまして「iPS細胞の現在と未来」というテーマで京都大学iPS細胞研究所との合同シンポジウムを開催させていただきます。

事前受付の方法等、詳細につきましては、後日改めてご案内させていただきますが、多くの医療関係者及び市民の皆様のご来場をお待ちいたしております。

開催日 平成29年 4月 8日(土) 13時~15時

場 所 グランドホテル浜松(浜松市中区東伊場1-3-1)

平成28年11月に皆様にご協力いただきましたアンケート調査におきまして、皆様から頂戴したお言葉、ご意見に対して、お答えしていきたいと思っております。

**【御意見1】**

いつも大変お世話になり大いに助かっております。時間外も受け入れていただき本当に感謝しております。反面、当直をされている先生方にはご負担をおかけしてしまい申し訳なく思っております。ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

**【解答 1】**

ねぎらいのお言葉感謝いたします。二次救急当番の病院としての役割を果たすとともに、勤務医の負担軽減については重要な課題と捉えており、引き続き医師確保に努めてまいります。

**【御意見2】**

紹介入院患者の院内転科（又は他病院への転院）に関する診療情報の報告（連絡）が大変遅い（又は「ない」）場合があります。

院内での転科の場合、紹介医の情報も伝えて欲しいです。1, 2週たってから、家族などから「他科へ転科して手術もすみました」と報告を受けることがあります。

**【解答 2】**

ご指摘ありがとうございます。医師同士での引継ぎを心がけてはおりますが、失念することもございます。本件につきましては、ご訪問の折にも同様のご指摘を頂戴しました。それ以降は、地域連携室にて転科した情報を適時把握し、転科先の医師に対して働きかける運用を開始いたしました。また同様のことがございましたら、ご指摘ください。

**【御意見3】**

平素よりお世話になっております二次救急日でないときも患者さんを受け入れていただきありがたく思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

**【御意見4】**

時間外の患者受け入れの充実、消化器内科の医師の充実をお願いします。

（常勤医が少ないのでは）

**【解答3・4】**

当院では、断らない救急対応を心がけておりますので、引き続きご支援方よろしく願いいたします。

医師の充実につきましては、当院の重要な課題と認識しており、充実できるよう働きかけを行っているところです。体制が整いましたら、速やかにご報告いたします。

**【御意見5】**

連携室にて電話が時々長時間つながらないことがあります（数分ですが・・・）。その他は非常に満足しております。

**【解答 5】**

ご迷惑をおかけいたします。連携室がつながりにくい場合は、お手数ではございますが、医事課宛てお電話、FAXをお願いします。

電話 053-462-1211 FAX 053-540-2769

**【御意見 6】**

診療依頼の折に依頼をお受け頂き有り難く思っております。連携システムとは違いますが患者さんより外来での検査待ち時間が大変長時間にわたると時々聞きますがどの位の時間を待ってほしいのか大体の時間がわかれば多少気分的に楽なのではないかと考えます。

**【解答 6】**

ご指摘ありがとうございます。各診療科にて、待ち時間を表示するほか、長時間にお待ちいただく際にはお声がけするなど、少しでも待ち時間のご負担を減らせるよう努めてまいります。

**【御意見 7】**

紹介、逆紹介ともに例数が少ないため今のところ評価がしにくいです。当クリニックからの距離・交通アクセスがもう一つであるので、かなり他院との差別化がされないと紹介症例が増えにくいのだと思います。

**【解答 7】**

当院の有する専門的な部分については、今後本誌にて特集を組んで紹介してまいります。

**【御意見 8】**

腎臓内科の先生には大変お世話になりました。患者さんの家庭環境の問題でどうしても自宅で介護できない人を社会的入院で受けていただいたこともあり、感謝しております。働かれている先生方はじめみなさまが疲弊しないよう運営できるといいのですが。

**【解答 8】**

ねぎらいのお言葉感謝いたします。職員の充実、疲弊しない環境づくりは、幹部職員の重要な役割と認識しております。ありがとうございました。

**【御意見 9】**

難しいとは思いますが、胃カメラのみの検査受け入れが可能になれば大変有難いです。救急患者の受け入れ等、いつも大変お世話になっております。今後とも頼りにさせていただきます。

**【解答 9】**

御意見ありがとうございます。胃カメラのみの検査受け入れについては、前向きに検討し、実現次第本誌にてお知らせいたします。

**【御意見 10】**

現在のシステムで満足しています。紹介した患者について、症例に応じてCT等の画像を送って頂けると勉強になります。

**【解答 10】**

御意見ありがとうございます。ご紹介いただいた際のお返事や逆紹介については、速やかかつ解りやすいものとするよう、各医師に対して指導し、今回ご指摘いただいた画像データの送付については、積極的に検討してまいります。

皆様ご協力ありがとうございました。頂いたご意見をもとに、さらによりよい病院となれるよう、努めてまいります。今後、全てのご意見に対する改善報告については、本誌にてご報告させていただきます。

診療科の情報を次月号から掲載していきます。

## ■平成28年度 開放型病院運営会議・研修会

当院におきまして、下記のとおり「開放型病院運営会議・研修会」を開催いたします。

今年度は、対面式の会議とはせず、先般ご協力いただきましたアンケート結果の報告をもとに、参加者の皆様と意見交換するとともに、生涯教育制度単位履修対象の研修会を開催いたします。

つきましては、多くの開業医の先生方にご参集いただき、忌憚のないご意見をいただければと思う所存です。

ご多忙中大変恐縮ではございますが、多くの皆様の参加をお待ち申し上げます。

日時 平成29年 1月18日（水） 19時30分～

場所 浜松労災病院 6階 大会議室

演題・演者

地域医療連携にかかる当院の現状

浜松労災病院 医事課長 磯部 知隆

膵臓がんの最新治療 ～患者さんの思いに応えたい～

浜松労災病院 院長 有井 滋樹

## ■治療就労両立支援の取組について

当院では、脳卒中やがん疾患の患者さんに対して、職場復帰（治療就労両立支援）を支援する取組を無料で行っています。今回はその取組内容を紹介いたします。

### 【脳卒中リハ分野】

- ・急性期治療から復職に至るまで一貫した支援を提供するため、身体機能の評価、職業情報の収集を行い、転院先（回復期リハ病院等）にも復職に必要な治療を継続するための情報提供を行っています。
- ・事業場・家族等との連携により復職方法（現職復帰・配置転換等）の検討を行っています。
- ・医師、復職コーディネーター、リハビリ技士、社会福祉士等が中心になり職場復帰支援をしていきます。

### 【がん分野】

- ・患者さんの病状、経済状況、就労状況等により、患者さんの不安・悩みや事業場の懸念事項の解消を図ります。
- ・医師、復職コーディネーター、看護師、薬剤師、社会福祉士等が中心になり職場復帰支援をしていきます。

平成28年度の支援実績状況（平成28年11月30日現在）

・脳卒中リハ分野 9名 18件 ・がん分野 1名 1件

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00